

〈 鈴木嘉彦略歴 〉



昭和22年	山梨県生まれ（本籍地 山梨県大月市）
昭和44年	山梨大学工学部電子工学科卒業
昭和49年	東京工業大学大学院電子工学専攻博士課程修了（工学博士） 4月山梨大学講師、11月助教授（工学部）
昭和61～62年	米国UCLA客員研究員
平成1年	山梨大学教授（工学部）
平成16～19年	大学院医学工学総合教育部長、工学部長
平成24年	山梨大学定年退職（山梨大学名誉教授）

- ・ 30代までは、主に非線形回路網の解析を中心に非線形システム理論とその工学への応用の研究を行ってきた。
- ・ 40代になってから、地球規模での環境問題の根源が、地球の物質的閉鎖性にあることに気づき、以後地球環境問題の解決をめざして研究教育並びに普及啓発活動を行っている。
- ・ 平成10年4月、山梨大学工学部に新設された循環システム工学科の学科長を勤めた後、平成14年4月創設された大学院工学研究科の独立専攻「持続社会形成専攻」に所属を替えた。さらに平成15年大学院の部局科に伴い医学工学総合教育部の所属となった。
- ・ 循環システム工学科では、物質の循環、経済の循環、情報の循環、を理解した総合的な環境問題への対応が可能な技術者を育成するため教育研究を行ってきた。さらに持続社会形成専攻では、循環だけでなく、共生と参加、を加えた総合的な教育研究を行った。
- ・ 原則的には自転車や公共輸送機関を利用し、自宅でも太陽光発電を行うなど環境に負荷を与えない生活スタイルを心がけている。持続可能な社会を地球のミニモデルといえる山梨県で世界で最初に実現すべく種々の活動を行っている。

〈 著 書 〉

「持続可能社会のつくり方」日科技連出版 など

〈 その他 〉

- ・ やまなしエコネットワーク代表
- ・ 公益財団法人 山梨総合研究所理事
- ・ 山梨県小水力利用推進協議会会長